

ゆい! のひろげ



宮古島市教育委員会
広報誌

第31号

2017/9/1発行

～子どもたちが笑顔にあふれ 活力と郷土愛に満ちた宮古～

特集 まいふかやらびぬきやー

子ども達の喜ばしい功績の数々



岐阜県白川町と下地地区の子どもたち



新潟県上越市板倉区と城辺地区の子どもたち



CONTENTS

・特集2 他都市間交流事業

岐阜県白川町と下地地区の子どもたち

新潟県上越市板倉区と城辺地区の子どもたち

・連載 文化財を巡る



「外間御嶽」



・ Topics

- ・ 第3回子ども博物館講座
- ・ 宝くじふるさとワクワク劇場
- ・ 鳴りとうゆんみゃ〜く方言大会
- ・ 海外ホームステイ事業補助金交付式
- ・ 平成29年度青少年の深夜はいかい防止
- ・ 未成年者飲酒防止パレード etc



パニパニ☆スクール

市内小中学校で児童生徒が元気に取り組んでいるユニークな活動や取り組みを紹介するコーナーです。今回は表彰特集と南小学校です。



学校・児童生徒・表彰特集

文化・スポーツ面で優秀な成績をおさめた児童生徒の輝かしい成績と結果を紹介します。

砂川中学校

平成29年度、歯・口の健康に関する

図画・ポスターのコンクール

県知事賞 狩俣洋介(3年)

優良賞 羽路元喜(1年)

入選 池間 暖(2年)

平良中学校

第37回県中学校夏季陸上大会

1/2年生 400R

男子 二位

～九州大会へ出場～

西城中学校

県中学校総合体育大会

陸上競技

1年男子1500m

準優勝 松川勝紀

～九州大会へ出場～

佐良浜中学校

第44回県中学校総合体育大会

バレーボール競技 男子 優勝

～九州大会へ出場～

女子 4位入賞

平良中学校

第44回県中学校総合体育大会卓球競技

男子団体戦 優勝(3連覇)

女子個人戦 優勝 宮國悠乃

～九州大会へ出場～

平良中学校

第5回科学の甲子園 Jr.宮古地区

代表選考会

優勝 ～県予選出場～

福家大志朗・内間蒼己・新城清樹

豊見山綸斗・翁長裕也・東江康生



佐良浜小学校

平成29年度琉球新報児童オリンピック
バレー県大会(3・4年)

準優勝

校長先生からのコメント

初めて県大会に出場しての準優勝は素晴らしい。
準決勝までは危なげなく勝ち進んだが、決勝戦は緊張
して本来の力が出せなかった。
次の県大会からは高学年になるので、優勝して全国大
会に行きたい。



佐良浜小学校

ファミリーマートカップ第37回 全日本バ
レーボール小学生沖縄県大会

男子 準優勝

~九州大会へ出場~

北小学校

第37回新報児童オリンピック
少年サッカー大会宮古地区予選

男子 優勝

受賞された皆さん
おめでとうございます。
今後の活躍を
期待しております



★夏休み学習ボランティア (南小&平良中)

「夏休み学習ボランティアをしませんか?」と平良中の皆さんに呼びかけたところ、中1~中3の計31名と多くの皆さんが参加してくれました。(小学生は担任の声かけで約80名の参加)

呼びかけはしたものの、中学生の希望者がこんなに多くいることには正直驚きました。4日間の学習会で連続で来てくれた人は16人、のべ人数は98人でした。この企画にあたり、小学生は学ぶ喜びを、中学生は教える楽しさをお互いに感じ取れることを期待しました。

予想はドンピシャリ! いやそれ以上で、傍らから見ていて温かたにこやかな学びの空間が広がっていました。いつもは鉛筆を持つことを嫌がる子も、姿勢が悪く集中力がない子も、お兄さんお姉さんの声に耳を傾け、それぞれのペースで一息懸命学んでいました。

「ひき算のやり方がわかった。」「時計の読み方がわかるようになってうれしい。」「丸つけをすぐしてくれ



たり、たくさん遊んでくれたりして楽しかった。また来てほしい。」「とてもわかりやすくて、はっきりしていてよかった。まちがったらすぐに来てくれるので助かった。」「参加した小学生の感想からも、楽しく学んだ様子が伝わります。

また中学生の感想から、「小学生がしっかりわかるように、言葉を選んで伝えた。」「自分が小学2年の時学んだ事を思い出して教えた。」「一人一人の個性にあった教え方を見つけ出すのがとても難関だった。」など、中学生なりの教える工夫も見取る事ができました。他にも、「人に教えるという楽しさや、同じ目線となり一緒に問題を解く楽しさが実感できた。」「将来の夢が教師なので、教えるということを通して貴重な体験ができた。」など素敵な声も聞こえました。

子どもと子どもの小中連携...私たち教師が思っていた以上に、考えて優しく教える中学生の姿はとても立派で、感動しきりの4日間でした。



自分の世界を広げよう！ 児童・生徒の 他都市間交流事業

今年の夏も、宮古島市との交流都市となっている岐阜県白川町と新潟県上越市板倉区の子どもたちがやってきました！それぞれが下地地区・城辺地区の児童との交流を深め、たくさんの思い出を作っていたことでしょう。その様子を少しだけ、ご紹介します。

岐阜県白川町と下地地区の子どもたち 「海山体験交流」

今年度は、8月1日（火）～3日（木）の日程で白川町より31名（児童25名、引率6名）が交流事業のため来島しました。

初日は、宮古島の各地を見学。東平安名崎では360度見渡せる壮大な景色に魅了され、地下ダム資料館では地下ダムの仕組みを学習しました。また、宮古青少年の家での星座観察では、白川では見られない星空を観察して驚きの表情が見られました。



二日目には、下地地区の児童も合流し、交流を行いました。貝殻やサンゴを使っての工作や博物館、伊良部島を見学。そして前浜ビーチでの海水浴は大はしゃぎの様子でした。サニツ浜でのBBQでは、下地の父母のおいしい料理にたくさんの笑顔が見られました。



最終日は、シースカイ博愛の水中観光船で、初めて見るウミガメや色とりどりの魚に感動した様子でした。その後、長濱副市長を表敬し、交流事業の活動報告や宮古島の産業・観光・自然について熱心に質問していました。交流事業の全日程を終了し、帰路につきました。



ワンポイント！

白川町は山間部に位置していて、たくさんの川があり、お茶の名産地でもあります。なかなか海を見る機会がない白川町の子どもたち、宮古島の海を思いっきり楽しんだことでしょう。冬には宮古島の子どもたちが白川町を訪問し、自然環境の違いやお互いの地域についての理解を深め交流することになっています。

新潟県上越市板倉区と城辺地区の子どもたち「ホームステイで交流事業」

今年度は、8月17日（水）～8月20日（日）の日程で板倉区の小学校より児童8名（引率者3名）が交流事業のため来島しました。

初日は、城辺公民館で板倉区の引率者・児童、城辺地区の児童・保護者・学校関係者で顔合わせをしました。子ども達は緊張しているのかどこかぎこちない様子でしたが、保護者の方が温かく見守っていました。その後、子ども達はホームステイ先のお宅へ向かいました。



二日目は、砂川小学校の体育館で城辺地区の小学生と交流会を行いました。板倉区の子どもの学校紹介はプロジェクターを使って行われ、その後、砂川小学校の児童によるエイサーやドッジボール大会を行い、交流を深めていました。午後からは高野海岸へ向かい海水浴。こども達の歓声に誘われるかのように、途中ウミガメも現れ大いに盛り上がりました。海水浴後は砂浜でスイカ割りをし、真夏の海を満喫していました。



三日目、この交流のきっかけとなった板倉区出身の中村十作翁が宮古島で廃止運動を行ったという人頭税についての資料史跡見学のため総合博物館、人頭税石、鏡原馬場跡を訪れました。総合博物館では人頭税について説明を受け、真剣に学んでいる様子でした。午後からは城辺公民館に戻り、リンクンビ先生と親子クッキングを楽しみました。事前に用意された野菜に保護者の名前を彫り込み、児童から保護者へプレゼントすると保護者の皆さんはとても感激している様子でした。最終日には解散式を行い、それぞれのホームステイ先の家族へ別れをつげ、帰路につきました。



ワンポイント！

板倉区はお米の産地で、冬にはたくさんの雪が降り、日本スキーの発祥の地とも言われています。冬には城辺地区の子どもたちが板倉区を訪問しホームステイすることになっています。夏の宮古島と冬の板倉区、お互いの環境の違いを体験することで、広い視野と郷土を愛する心を育てていくことでしょう。